



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

例会場 東京第一ホテル鶴岡 (鶴岡市錦町2-10) 例会日 毎週火曜日(12:30~13:30)

平成28年10月4日(火) 第2776回 例会 (本年度第11回)

10月25日(火)	黒豚を楽しむ家族例会
11月 1日(火)	会員スピーチ(2名)
11月 8日(火)	会員スピーチ 榎本政規鶴岡市長
11月15日(火)	第2ブロックIM(11/19)に振替

Eメール@tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ@http://www.tsuruokarc.org/



会長報告

会長／加藤亨

2日の香頭ヶ浜海岸清掃に多くの会員、家族、アクト、インター、恩園の方々、総勢44名の皆さんに参加して頂きました。気温が高く、砂浜を歩くだけでも大変な中、昨年より多くのゴミを回収する事が出来ました。大変ご苦労様でした。私の年度で初めて天気を心配することが無く出来た社会奉仕でした。終了後の芋煮は大変美味しく、楽しい時間だったと思います。

本日理事会が行われましたので報告します。

財団100周年記念公共イメージ協力金5,000円を拠出することで決めておりましたが、地区大会の会長幹事会で、再度報告説明が有るということで、その報告を確認して再度検討させていただくことになりました。

10月25日の黒豚家族例会は、点鐘18:30登録料会員5,000円、家族3,000円、交換学生とホストファミリー、オウバクヒ君は招待とし、今回はRAC、ICAには案内を出さないことにしました。

10月9日の地区大会ですが、相乗りで行かれる方の集合時間7:00、集合場所を東京第一ホテルに決定しました。菅原さんの運転で阿蘇さん、丸山さん、越智さん、武田さんご確認お願いします。又当日ガバナー表彰で登壇者を僭越ではありますが、私とさせていただきます。

11月20日の第2ブロックIMは余目の梵天にて13:30登録、17:00懇親会で、登録料クラブ負担2,000円とし、個人負担を4,000円とさせていただきます。移動方法は東京第一ホテル様より特別にマイクロバスを提供していただけることになりましたので、13:00集合出発とします。出席確認を宜しくお願いします。

会員数	33名
出席	24名
出席率	85.71%
前々回確定出席率	78.57%

山形西RC、60周年記念式典11月12日の案内が会長幹事に来ておりますが、私用のため私が出席できないので菅原成規さんにお願いしました。

最後に本日は英語弁論大会優勝、準優勝者のスピーチがありますが、英語が苦手な私ではありますが、一生懸命に聞きたいと思いますので宜しくお願ひ致します。

英語スピーチコンテスト受賞者スピーチ

出来ることから始めよう

Rioko Miura



「水がないわ。学校を休んで水を汲んできて。」「今日は食べ物が何もない。一日我慢して。」「近くで銃撃があったそうよ。今日は学校に行けないわね。」あなたはこのようなことを言わされたことがあるだろうか。これらがあなたの普通の生活の一部にあるか。私にとって普通とは毎日の三食の食事やおやつ、友だちと学校で勉強ができる事である。日本は、ほかの国々と大きな違いがある。10人に2人しか小学校を卒業できない場所がある。またほかの国では、暴動などにより普通の生活ができない子どもたちがいる。これらの国々は食料や水不足、政治的、経済的な部分で不安定な状態などの問題を抱えている。

「普通の生活」とは何か。そして私たちの「普通」はほかの国でも同じなのだろうか。実際に、私は普通とは何かわからないが今私たちの普通はほかの国々の普通ではないことを知っている。私は英語の授業で「世界の実状」を学んだ。学校の授業で私は、

■RI会長 ジョン・F・ジャーム ■地区ガバナー 長谷川 憲治

■会長／加藤亨 ■副会長／武田啓之 ■幹事／富田喜美子 ■会長エレクト／木村 節
■会報委員会／阿蘇司朗・迎田 健・菅原成規・前田 優・真島吉也

事務局：山形県鶴岡市錦町2-68 鶴岡SSビル1F TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

村の電気の問題を解決するために風車を作った発展途上国少年について読んだ。十分な教育を受けられない少年でさえも彼の身の回りの生活を変えようと一生懸命努力したことに対する衝撃を受けた。私も十分な教育を受けることができない子どもたちのために何かしたいという気持ちがだんだんと増えてきた。

今年、「教育を受けられない子どもたちのために何ができるか」というテーマで調査を始めた。資料や数字はインターネットで調べれば簡単に見つかるが、実際に解決するために何をすべきかを考えるのが難しい。そこで鶴岡の子どもたちに焦点を当て身近なことから始めることにした。社会的な生活保護についての情報を集めるために市役所に行った。ここでも、同じように経済的な事情で学校に通えない子どもがいることがわかった。教育委員会の方がこうおっしゃった。「助けを求める声をあげられない人々がたくさんいる。私たちができるることは、この問題への認識を増やすこと、救いの手を差し伸べること、そしてできる限りのサービスを提供することです。」私は経済面と精神面でのサポートをすることが本質的なのだと実感した。そしてボランティアやコミュニティの結びつきを維持したり強めたりと小さなことから始めてることで、よりよい私たちのコミュニティを作ることができたと思った。これはたくさんの人々に会い、影響を与える機会もある。問題を解決するには、一人でやるよりも大勢でやるほうが解決策は明らかに見つかる。人々と国々にとって世界的な問題を解決するために一緒に何かをすることが大切なのだ。そして私は、人々と会い、話すことが必要だといつも信じている。そこで山形大学の発展途上国出身の留学生と会ってみることにした。幸運なことに、私はルワンダ出身の留学生と話すことができ、彼は、「今私の国のために農業を学んでいる。奨学金のおかげでここで学ぶことができるんだ！将来はルワンダに学校を立てるのが私の夢なんだ。」私は国問題を解決しようとほかの国で学ぶ彼の力に圧倒され、私も自分ができる以上のことをしていくと確信した。そのようなことで私と友人は発展途上国の学校に通えない子どもたちがよりよい生活ができるように教科書を集めて送るという計画を立てている。これはほんの少しの問題しか解決できないかもしれないが、彼らに「普通の生活」をする機会を与えられるかもしれない。私たちに今できることは、もっと平和でみんなが理解しあえる世界を創ることを手助けすることだ。

今、私はこれからすべきことを知っている。将来、国際連盟で子どもたちが教育を受けることを助ける仕事をするということだ。マララ・ユスフザイはこう述べている。「教育は世界を変えられる。」と。私にとって、これは私の支援の仕方を世界の人々に見せるための小さな一步だ。そして、世界を注意深く

見ること、世界で起きた出来事に敏感になること、なぜそれらが起こったか理解し、どのように行動するか決断することが大切だ。これらの行動が人々を助けるという私の目標につながると信じている。

あなたはどうですか。あなたには何ができると思いますか。

素晴らしい太陽

Nagisa Ota



私は少女です。清潔な制服を着て安全な道を通って学校に通い、部活動にも参加します。私にとって何も特別なことはありません。私はこれらのこと当たり前だと思っています。私には学校に行く自由、自分の好きなことをする自由、職に就く自由、そして恋をする自由があります。誰も私を止めることはできません。しかし、周りを見れば、自由を妨げられている人がいます。途上国に住む少女や女性です。男性優位社会が根付いている国も多くあります。どうして彼女たちは女性であるというだけで不当な扱いを受けるのでしょうか。

中国やインドのような国には、女の胎児は早期妊娠で中絶される『性別選択妊娠中絶』とよばれる処置があります。この処置は女性より男性を優遇する文化のある世界の地域ではより一般的です。女性は男性ほどお金を稼ぐことができず、多くの女性は自分の意思とは関係なく結婚させられます。

その上、途上国の女性にとって若いうちに結婚することは珍しくありません。多くの女性は若くして妊娠するからです。途上国では、妊娠や出産による問題は15歳から19歳の女性の死を引き起す一つです。これは多くの若い女性が体が成熟する前に子どもを持つからだけではなく、子どもを生み、育てる正しい知識が欠けているからでもあります。結果として、彼女たちの子どもの多くは一歳を前にして亡くなります。妊娠や出産による健康のリスクがあるだけでなく、母親となった彼女たちが教育を受けるために学校に通うことを困難にさせます。それゆえ、十分にお金を与えない家事や育児、介護のような仕事をさせられ、職業訓練のための機会を与えられません。制限された機会しか与えられず、政治的な権力のある地位につくことができないため女性を支援する政策は進められません。あとどれくらい彼女たちは我慢しなければならないのでしょうか。彼女たちを救うにはどうしたらよいのでしょうか。

女性が力をつけ、行動することによって自分たちの置かれた状況を変えていくこと、そして教育です。前国連事務局長であるコフィ・アナン氏は『女性教育以上に効果的な発展手段はない』と言いました。更に、ユニセフや世界銀行は入学率は経

済に大きな影響を与えているというデータを示しています。少女たちが教育を一年受けるだけでも、乳児の死亡率は5～10パーセント減り、彼女らが小学校を卒業すると、子どもたちが5歳まで生きる確率は40パーセントも増えます。経済的な面では、少女たちが中学校に入る割合が増えればGDPもまた増えます。今日、7億人を超える人々が読み書きをすることができません。3分の2は女性です。私が中学生の時、先生は「女の子は何でもできる素晴らしい力を持っています。でも他の国々では彼女たちが本当の可能性を手にすることは難しいのです。」私もそう思います。

私は女性よりも高い地位につく男性を責めるわけではありません。私はただ、女性も男性と同じ権利を持っているのだと言いたいのです。少し前の日本では、女性は家庭に入り男性は外に出て働きにいくのが当たり前でした。人々はそれがごく普通のことだと考えていました。それでも女性たちは諦めませんでした。そこで行動を起こしたのは平塚らいてうという一人の女性でした。彼女はこんな言葉を私たちに残しました。「原始、女性は実に太陽であった。真心の人であった。今、女性は月である。他によって生き、他の光によって輝き、病人のような蒼白い顔の月である。」平塚らいてうは大正時代から昭和時代にかけて女性の権利を求める活動家でした。そ

の時代、女性は社会から不当な扱いを受けていました。らいてうはこれまで以上によい地位を女性に与えるために女性運動を引き起こしました。今日、私たちは女性だからという理由で社会から不当に扱われていません。私たちはこれらの女性たちの運動のおかげで男性と同じことができます。

さて、私は助けを待っている人々のために何ができるのでしょうか。私には学校や家を建てたり、成長する子どもたちを助けたりできるほど十分なお金はありません。毎日学校に通わなければならないため、すぐに途上国に行って何かを手伝うこともできません。それでも私は、途上国に住む人々が置かれる状況を調べ、私と同じように彼らを助けたいと思っている人々にその状況を伝え、広めることができます。幸運なことに、私たちはインターネットをはじめとする多くのツールを利用して世界中の人々と話すことができるのです。私はこの私を変えたい、そしてこの不公平な世界を変えたいと強く思います。私は一人の少女として、行動を起こし実行する人になります。

この広い世界で、私たちは皆平等です。全ての人に権利や自由があり、誰にも邪魔はできないのです。途上国に住む女性が太陽のように自らを輝かせることができないのは、違う環境と文化的な信念のせいなのです。

香頭ヶ浜海岸清掃

清掃前の海岸
砂の上はゴミが
いっぱい！

Before



清掃後の海岸
ゴミを一掃、
綺麗になりました！

After



ロータリーファミリー44名の
参加くださった皆さん、
ご苦労様でした。そしてありがとうございました。作業を終えた後の芋煮
は格別で大変おいしかったです！



海岸清掃参加者は、鶴岡RC会員15名、家族7名、鶴岡RAC5名
酒田RAC2名、鶴岡東高校IAC8名、思恩園7名 計44名



2016年10月8日（土）～9日（日）、国際ロータリー第2800地区、地区大会が9時30分より行われた。

第1日目は、地区指導者育成セミナー、RI会長代理、足立功一氏（釧路北RC）の歓迎晩餐会が行われ、第2日目は山形市民会館にて県内のロータリアンが集い、1,500席ある会議場はほぼ満席に近くなつた。長谷川ガバナーのご挨拶に始まり、山形西高等学校 藤井碧里子さんの会場中に響き渡る国家独唱、「奉仕の理想」の唱和でスタート。ご来賓の祝辞に続いて RI会長代理 足立氏の講話、青少年交換、インタークアクト、ローターアクトの各活動報告があつた。

午後からは一般鑑賞者も入場し、山形交響楽団によるロータリーデー「ポリオ撲滅キャンペーン記念演奏会」があった。その中で、指揮をやりたい人はどうぞというハプニング的要請があり、生涯二度と味わえない経験を希望者2名の方がされたことは、ロータリアンの優しい行動の中から生まれたもので素晴らしい企画でした。

16時から各表彰が行われ、鶴岡ロータリークラブはクラブ表彰、東日本大震災復興支援、寄付平均額上位。個人表彰も丸山隆志君、真島吉也君、佐藤孝子さん、榎本政規君、迎田健君がマルチプル・ポール・ハリスフェロー、ポール・ハリスフェローには加藤亨君、小林健郎君と続き、米山功労者表彰ではメジャードナーとして藤川亨胤君、功労者には加藤亨君が入った。出席優秀ロータリアンには20年間で丸山隆志君、10年間で越智茂昭君が表彰された。

そして次期開催地は寒河江ロータリークラブに決定、ガバナーエレクトは鈴木一作氏。ガバナーノミニーは酒田ロータリークラブの上林直樹氏と決定さ

れた。

その後、会場をホテルメトロポリタン山形へ移動し、会員懇親の夕べを行い、19時30分には「手に手つないで」を合唱して2日間の2016～2017年度の山形での地区大会は無事終了した。

委員会報告

出席委員会

◆ゲスト

英語弁論大会 生徒2名・先生2名

◆メイクされた方

藤川亨胤君 木村節君 阿部純次君 越智茂昭君
加藤亨君 菅原成規君 武田啓之君 富樫松雄君
丸山隆志君 富田喜美子君

スマイル

加藤 亨君 先日の海岸清掃ありがとうございました。

武田啓之君 三浦さん、太田さんありがとうございました。

佐藤孝子君 英語スピーチコンテストおめでとうございます。滝川先生お会いできて嬉しかったです。

富田喜美子君 田川地区英語弁論大会でRCの代表として英語で挨拶しました。褒められうれしく思いました。

越智茂昭君 三浦さん、太田さんありがとうございました。

菅原成規君 三浦さん、太田さん素晴らしいスピーチありがとうございました。

迎田 健君 素晴らしいスピーチにスマイル。